

島根県競技力向上対策本部 第3回本部会議次第

令和4年6月30日（木）

10:30～12:00

市町村振興センター大会議室

1. 開 会

2. あいさつ 本部長（島根県副知事 松尾紳次）

3. 報告事項

（1）競技力向上対策本部事務局の組織体制・・・資料1

（2）競技力向上のための指導者確保の取組・・・資料2

（3）第2回競技力向上対策本部会議でのご意見と事務局の対応・・・資料3

（4）第3回選手強化対策委員会の概要・・・資料4

4. 承認事項

第1号議案 本部役員の変更・・・資料5

第2号議案 令和4年度競技力向上対策事業及び収支予算・・・資料6

5. 意見交換

今後の競技力向上対策に係る提言・・・資料7

[参考資料]

愛称・スローガン決定、会場地選定状況・・・資料8

6. あいさつ 副本部長（公益財団法人島根県スポーツ協会理事長 田部 長右衛門）

7. 閉 会

第3回 島根県競技力向上対策本部会議 出席者名簿

敬称略 順不同

【島根県競技力向上対策本部委員】

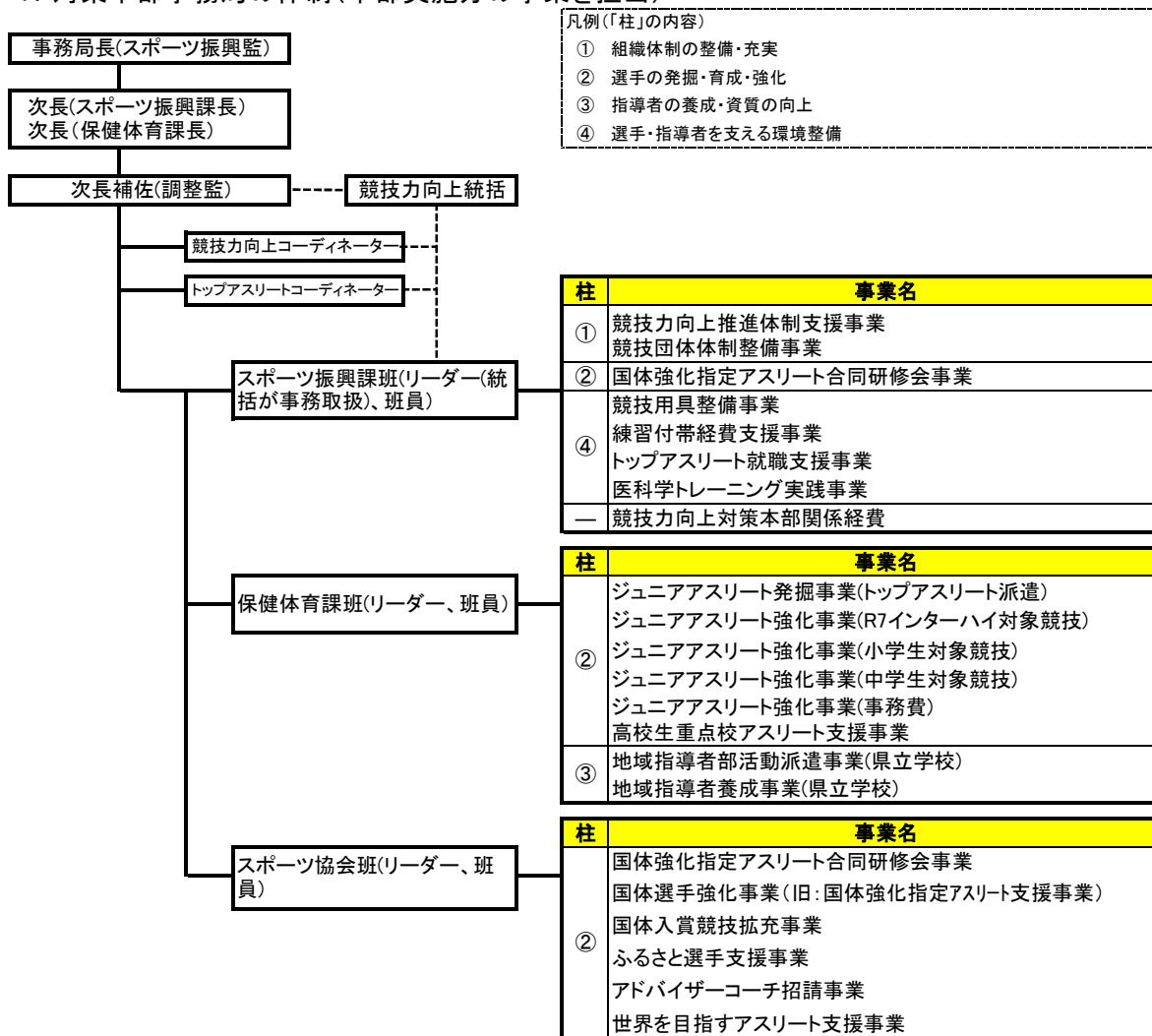
役 職	氏 名	出欠
島根県副知事	松 尾 紳 次	
公益財団法人島根県スポーツ協会理事長	田 部 長 右 衛 門	
島根県環境生活部長	竹 内 俊 勝	欠席
島根県市長会長	上 定 昭 仁	代理出席（副会長）
島根県町村会長	下 森 博 之	
島根県教育委員会教育長	石 原 恵 利 子	代理出席（副教育長）
島根県市町村教育委員会連合会会長	杉 谷 学	
島根県商工会議所連合会幹事長	松 浦 俊 彦	
島根県商工会連合会会長	高 橋 日 出 男	
島根県中小企業団体中央会会長	杉 谷 雅 祥	欠席
公益財団法人島根県スポーツ協会専務理事	安 井 克 久	
公益財団法人島根県スポーツ協会スポーツ医・科学委員長	伊 達 伸 也	
株式会社山陰合同銀行執行役員人事部長	金 谷 智 文	
株式会社中筋組代表取締役社長	中 筋 豊 通	欠席
島根県小学校長会長	越 野 和 胤	
島根県中学校体育連盟会長	安 達 正 治	
島根県高等学校体育連盟会長	宇 津 誠	
島根県立大学副学長	岸 本 強	
東洋大学教授（オリンピック）	土 江 寛 裕	

【島根県競技力向上対策本部事務局員】

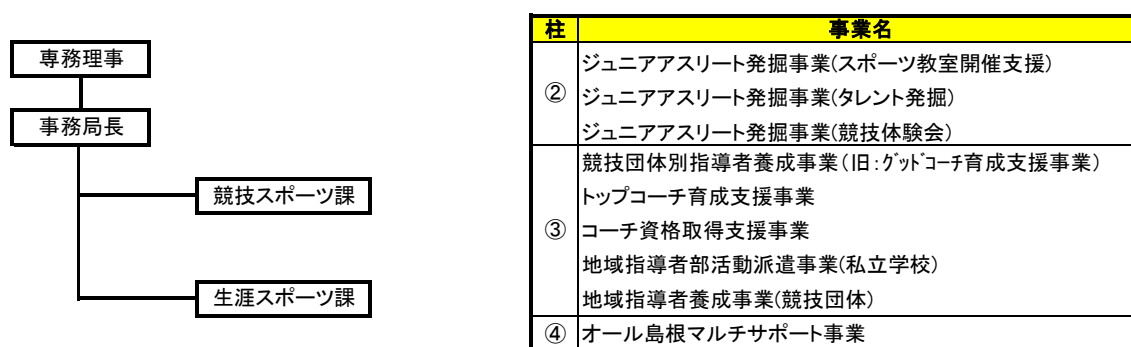
役 職	氏 名	所 属
事務局長	中 澤 信 善	島根県環境生活部スポーツ振興監
事務局次長	小 村 淳 二	島根県環境生活部スポーツ振興課長
〃	徳 永 恵 美	島根県教育庁保健体育課長
事務局次長補佐	松 本 守 正	島根県環境生活部スポーツ振興課調整監
事務局員	井 場 浩	島根県環境生活部スポーツ振興課競技力向上統括
〃	佐 藤 睦 也	島根県環境生活部スポーツ振興課競技力向上コーディネーター
〃	勝 部 府 実	島根県環境生活部スポーツ振興課トップアスリートコーディネーター
〃	伊 藤 広 志	島根県環境生活部スポーツ振興課企画幹
〃	吉 田 理 知	島根県環境生活部スポーツ振興課企画員
〃	田 部 高 広	島根県環境生活部スポーツ振興課主任
〃	陶 山 和 秀	公益財団法人島根県スポーツ協会競技スポーツ課長
〃	早 戸 美 優	公益財団法人島根県スポーツ協会競技スポーツ課体育指導員
〃	小 倉 庸 二	島根県環境生活部スポーツ振興課企画幹 島根県教育庁保健体育課学校体育グループリーダー
〃	角 田 裕 之	島根県環境生活部スポーツ振興課企画員 島根県教育庁保健体育課学校体育グループ指導主事

令和4年度 競技力向上対策本部事務局の組織体制

1. 対策本部事務局の体制(本部実施分の事業を担当)



2. 県スポーツ協会事務局の体制(県スポーツ協会委託実施分を担当)



★ジュニアアスリートの発掘や指導者の養成等は、大会後も引き続き行う必要があるため、大会後には解散する競技力向上対策本部で行うのではなく、従来同様に、県スポーツ協会へ委託する。

3. 各競技団体への対応

- (1) 競技団体への指導・助言(強化計画・ヒアリング)
- (2) 競技力分析、競技力向上、強化費交付、執行
- (3) 選手、指導者確保

★本部事務局員が各競技団体を分担して担当し、以上の業務を行う。

競技力向上のための指導者確保の取組

1. 教育委員会との連携

- ① 採用試験上の特例措置 ② 部活動顧問の適正配置 ③ 部活動の指導体制

◆内 容

① 採用試験上の特例措置の創設

- ・令和4年度実施の教員採用試験から「第84回国民スポーツ大会（2030年に島根県で開催予定）に向けた指導者等への特例」（第1次試験に加点）を実施
- ・令和4年度は、陸上競技、ホッケー、ソフトボールを対象に実施
- ・その他の競技についても、教委と協議の上R5年度以降の実施を検討

② 部活動顧問の適正配置：「国民スポーツ大会推進教員（仮称）」を新設する方向で検討中

- ・部活動が選手強化の中心となる競技について、指導を担う教員を指定し、2030年まで継続的に指導ができるよう人事上の配慮等を教委と検討中
- ・令和5年度の指定に向け、指定の方法、人事異動ルール等の詳細を教委と検討中
- ・令和4年度中に各競技団体と協議し候補者を選定

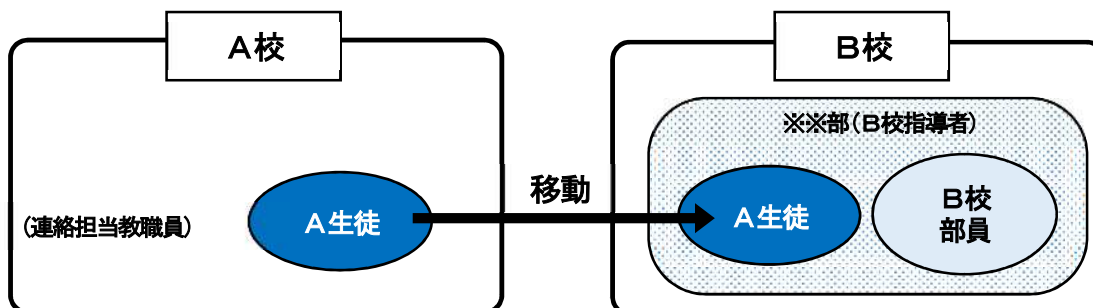
③ 部活動の指導体制：「県立学校における運動部活動指導に係る委任申請」制度の創設（令和4年度から実施）

【 趣 旨 】

生徒自らが勤しむスポーツ競技について、在籍校に対象競技の部活動がない場合、十分な練習ができなくなったり、競技継続を断念せざるを得ない状況になることがある。

このような場合に、生徒が他校の対象競技の部活動に参加し、他校の指導者の指導が受けられる制度（部活動の指導者が、他校の生徒を指導することができる制度）を構築することで、スポーツ競技に意欲的に取り組む生徒を支援する。

* 運動部活動指導に係る委任申請のイメージ



2. 企業等との連携

2030年に向けて優秀な選手・指導者を確保するため、これらの選手等が県内で働きながら競技スポーツを続けられるよう、トップアスリートコーディネーターをR4年度より1名配置し、理解のある企業等の開拓と選手等とのマッチングを行う事業を開始。

第2回 島根県競技力向上対策本部会議でのご意見と事務局の対応

NO	ご意見	対応
1	競技得点の大きいソフトボールなどの団体競技は、各県が強化に力を入れており、指導者の確保が急がれる。	<ul style="list-style-type: none"> ・R4 年度実施の教員採用試験から、選手・指導者として優れた実績を有する方を1次試験で加点する特例措置を開始(対象競技:陸上競技、ホッケー、ソフトボール)。 ・選手や指導者を受け入れて頂く企業等を開拓し、マッチングを行う「トップアスリートコーディネーター」を6月からスポーツ振興課に配置し、アスリート就職支援事業を開始。
2	選手の受入れにあたっては、企業が選手を育成するという新たな視点と選手育成の資金が必要。	今後、受入れ企業の開拓を通じ、選手・指導者の活動を支えて頂けるようお願いしていきたい。また、選手育成については、競技力向上対策事業において様々な支援を行っていくこととしており、競技団体等の話をよく聞きながら支援を行っていきたい。
3	企業として応援できることがあると思うので、どういったことを求めるのか示して欲しい。	選手、指導者の働く場所の確保や競技に気兼ねなく参加できる環境整備等にご協力いただくよう企業訪問等を通じて依頼していきたい。
4	成年選手の受け皿として企業がチームを抱えることは困難だが、1人だけなら雇用ができる企業はある。企業のトップを集めて雇用の協力を依頼する必要がある。	アスリート就職支援事業の実施体制、実施スキームを整え、今後、商工団体や県の関係部局・関係機関と連携して、企業などへ協力を要請していく。
5	運動能力が落ちている小学生に対する取組として、様々なスポーツに触れる機会を県全体で増やすことが必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・県及び対策本部では、幼稚園・保育園に指導者を派遣して様々な運動遊びの機会を提供する事業や地域ぐるみで軽スポーツやレクリエーションの機会を提供する団体を支援する事業、競技団体が行う普及活動を支援する事業などを行っている。 ・また、対策本部事業として、小学3年生を対象に体力測定会を昨年度開催し、運動能力に優れた児童をしまねアスリートキッズとして認定。今年度、認定した小学4年生に様々な競技の体験会を開催し、小学5～6年にかけて選択した競技の専門プログラムで育成を図る取組を開始している。

NO	ご意見	対応
6	子どもの体力低下について、就学前からの運動の楽しさを体験できるような環境づくりが必要	同上
7	松江市はパナソニックやスサノオマジック(チアリーディング)と連携した取組を計画している。小中学生にトップレベルの指導者から指導を受けられる機会を提供する必要がある。	県及び対策本部では、スサノオマジックの選手による小学校での夢授業や、トップアスリートを小学校に派遣して実技指導や講話を行う機会を提供している。

第3回 島根県選手強化対策委員会の概要

1. 期 日 令和4年3月15日(火) 13:30～15:30
2. 場 所 サンラポーむらくも
3. 参加者 委員長1名、副委員長1名、委員12名 合計14名
4. 内 容

(1) 報告事項

- ・令和3年度 of 取組状況について
- ・令和4年度 of 取組について
 - 令和4年度競技力向上対策本部スケジュール
 - 令和4年度島根県競技力向上対策本部事務局組織体制
 - 令和4年度競技力向上対策事業及び予算

(2) 協議事項

- ・令和4年度新規事業方針案
- ・2030年島根国スポに向けた競技をしていない小中学生へのアプローチについて

5. 質疑応答

(委員)

- ・各競技でどのぐらい得点を獲得することができるのか予測を立て、その中で現在競技力の低い競技など、早めに対策をしないといけない競技がどの程度あって、どんな対策を具体的にやっていくのか、全体的なプランを示すことはできないのか。

(事務局)

- ・成年か少年か、あるいは個人競技か団体競技か等、各競技の実態に合わせて様々な角度から検証して具体策を練っていく必要があるのもうしばらく時間をいただきたい。

(委員)

- ・他校の生徒も指導ができる部活動の委任制度について、具体的な競技があるのか。また大会の引率や、校種を越えた指導はできるのか。

(事務局)

- ・こちらから指定するのではなく、生徒の要望や学校の実態に応じて柔軟に対応できるようにしている。大会の引率なども含めて委任できるようにしているが、中学校と高校の校種を越えた指導は現在できないので、今後の広がりや必要性等を見ながら判断していきたい。

(委員)

- ・中学校の部活動の地域移行について現状と今後の対策はどのようになっているのか。

(事務局)

- ・第2回会議の中で紹介した、県内2地域のモデル事業を現在進めている状況であり、それ以外は地域移行に向けての県としての動きはない。

⇒令和4年度から雲南市でも
モデル事業を開始

(委員)

- ・特別採用の採用枠について詳しく教えてほしい。

(事務局)

- ・対象は全校種、全職種で、人数は採用定数の中で採用する。

(委員)

- ・8年後の少年のターゲットエイジは現在小学生。教員採用もまずは小学校から採用して、順次中学校、高校と選手の年齢に合わせて採用してはどうか。
- ・特に中学校の部活動がどうなっていくのが心配である。教員の働き方改革と部活動での選手強化は真逆のことであり、強化の中心となる先生方が気持ちよく指導ができるように学校へ働きかけてほしい。

(委員)

- ・社会体育の活動状況や指導体制など、実態の把握が必要であり、次回の会議にはそれをもとに今後の強化について協議してはどうか。

(事務局)

- ・県内の地域によって実態は様々であり、県下一律に同条件での部活動の地域移行は難しいと感じている。

(委員)

- ・小中学生の子どもたちの人材確保の方法としては、市町村を回って働きかけてはどうか。
- ・小学校の先生に働きかけて、授業等で普段触れる機会の少ないスポーツを体験してもらう等、積極的にPRしていくべきである。
- ・また、テレビなどの活用によって、国スポの認知度を高めたり、地域や企業の協力要請も行っていく必要がある。

(事務局)

- ・愛称、スローガンについては、他県よりも2~3年早く決定する予定であり、小学生向けのリーフレットを15,000部作成して配布した。
- ・子どもの人材発掘のために体力測定会を東部と西部に分けて実施したところ、東部では100名の定員に対して140名の応募があった。この中から東部と西部それぞれ30名程度を選抜して、令和4年度は中学校にない、普段経験できない競技の体験会を実施する。
- ・今後は選抜された子どもが体験した競技の中から自分に合った競技を選択して本格的に取り組むことになる。

(委員)

- スポ少など、小学生のスポーツ活動では練習の準備やお世話を親が出なければならぬ競技もあり、子どもにやらせてあげたいけどできない状況があったり、子どもも個人競技ならやりたいが地域には団体スポーツしかないとか、スポーツ自体は好きだがチーム内に合わない子どもがいてチームに入れない等の理由で、やりたいけどできない状況があったりすると聞く。子どもが主体的に選べるようなスポーツ活動の多様な選択肢を増やすことも必要である。
- スポーツ医科学の観点から、高校生の年代で心身ともに疲弊しきっている子どももいる。小学生のころから正しい体の動かし方や、勝つことだけにとらわれないスポーツに対する価値観を身につけるなど、一貫した医科学的サポートが必要であると感じている。

島根県競技力向上対策本部 役員の変更

令和4年4月1現在

【本部長：1名】敬称略

区分	役職	氏名
県関係	島根県副知事	松尾 紳次

【副本部長：2名】敬称略、順不同

スポーツ団体	公益財団法人島根県スポーツ協会理事長	田部 長右衛門
県関係	島根県環境生活部長	竹内 俊勝

【委員：16名】敬称略、順不同

市町村関係	島根県市長会長	久保田 章市
	島根県町村会長	下森 博之
教育関係	島根県教育委員会教育長	野津 建二
	島根県市町村教育委員会連合会会長	杉谷 学
産業・経済関係	島根県商工会議所連合会幹事長	松浦 俊彦
	島根県商工会連合会会長	高橋 日出男
	島根県中小企業団体中央会会長	杉谷 雅祥
スポーツ団体	公益法財団法人島根県スポーツ協会専務理事	安井 克久
	公益財団法人島根県体育協会スポーツ医・科学委員長	伊達 伸也
企業スポーツ	株式会社山陰合同銀行執行役員人事部長	金谷 智文
	株式会社中筋組代表取締役社長	中筋 豊通
学校関係	島根県小学校長会長	越野 和胤
	島根県中学校体育連盟会長	安達 正治
	島根県高等学校体育連盟会長	宇津 誠
学識経験者	島根県立大学副学長	岸本 強
	オリンピック（陸上・東洋大学教授）	土江 寛裕

【監事：2名】敬称略、順不同

区分	所属機関・団体・役職名	氏名
県関係	島根県会計管理者	仁科 慎治郎
スポーツ団体	公益財団法人島根県スポーツ協会監事	佐藤 行生

令和4年度 国民スポーツ大会競技力向上対策事業

金額単位：千円

4つの柱	事業名	概要	事業執行	R4 予算	R3 予算	増減	備考
1 整組 備・体 充制 実の	競技力向上推進体制支援	・競技力向上計画作成に向けた情報収集のために、先催県や中央競技団体の強化関係者を招請、あるいは訪問するのに必要な経費の支援 ・強化担当者の開催や競技力向上計画の検証・評価の検討会等を開催する経費の支援 ・島根県競技力向上対策本部や島根県スポーツ協会が開催する競技団体とのヒアリングや連絡会議などに参加する経費を支援	対策本部	7,506	4,512	2,994	
	競技団体制整備	・競技団体の中核をなす役員クラス的人物を、先催県の競技団体の取組等について調査して、組織体制の立て直しを図る	対策本部	12,000	1,200	10,800	
2 選 手 の 発 掘 ・ 育 成 ・ 強 化	ジュニアアスリート発掘事業						
	スポーツ教室開催支援	・将来の国体候補選手となる競技者を増やすために、各競技団体が普及を目的とした教室を開催するために必要な経費を支援	対策本部 (県スポ協委託)	7,000	5,500	1,500	
	トップアスリート派遣	・トップアスリート等を小学校や競技体検会などへ招請して、講演会や未普及競技を中心としたスポーツ体験会を実施	対策本部	1,900	1,140	760	
	タレント発掘	・運動能力の高い小学生を選抜して、多様な競技体験の中から最適な競技を選択したり、体力測定の結果により全国で活躍できる可能性の高い競技へ転向したりできるような機会を提供	対策本部 (県スポ協委託)	3,404	0	3,404	【新規】
	競技体験会	・県内各種イベントにおいて、未普及競技を中心としたスポーツ体験会を実施	対策本部 (県スポ協委託)	1,872	700	1,172	
	ジュニアアスリート強化	・小中学生（ジュニア）の競技力向上を目的として、県内の優秀選手を選抜して県外遠征等を実施する際の経費を支援 ・R7年度に中国ブロックで開催予定の全国高校総体に向けた強化活動として、中学生の県外遠征費を支援	対策本部	31,280	19,296	11,984	「中学生の強化」と「社会体育の強化」を統合
	高校生重点校アスリート支援	・高校生の競技力向上を目的として、県内有力校を重点校として指定し（R3～R5）、県外遠征の実施や強豪校等を招請する経費を支援	対策本部	38,766	38,142	624	
	国体強化指定アスリート合同研修会	・将来ふるさと選手として国体へ出場する選手を増やすため、国体選手としての自覚や意識を高めるための、国体強化指定選手（少年）の合同研修会を実施	対策本部	1,621	2,821	▲ 1,200	
	国体選手強化	・国体で入賞実績のある競技の選手やチームを国体強化選手に指定して、県外遠征等の経費を支援	対策本部	34,206	29,504	4,702	
	国体入賞競技拡充	・国体での入賞競技数を増やすために、ブロック突破や本大会入賞まであと一步の競技について、県外遠征の経費を支援	対策本部	7,672	0	7,672	【新規】
ふるさと選手支援	・県外で活躍するふるさと登録選手が、引き続きふるさと選手として出場することや、帰県の際にジュニア選手への指導を行うことを条件に、県の合同練習会への参加や国体県予選の出場に要する経費を支援	対策本部	2,400	0	2,400	【新規】	
アドバイザーコーチ招請	・県内に優れた指導力を持つ指導者がいない競技や、振り付け等特殊な指導を要する競技について、県外の優秀指導者をアドバイザーとして招き、定期的に県内選手を指導してもらうための経費を支援	対策本部	3,384	0	3,384	【新規】	
世界を目指すアスリート支援	・国際大会で活躍できる選手を育成するため、全国トップレベルの実力を有する選手及びその指導者が県外及び海外遠征を実施するための経費を支援	対策本部	3,456	1,932	1,524	ふるさと島根寄附金1,000千円	
3 指 導 者 の 養 成 ・ 資 質 の 向 上	競技団体別指導者養成	・指導者の資質向上のため、各競技団体が開催する県外優秀指導者を講師として招いた県内研修会に必要な経費を支援	対策本部 (県スポ協委託)	2,052	912	1,140	
	トップコーチ育成支援	・強化の中心となる指導者の更なる指導力向上を目的として、日本トップレベルの戦術やトレーニング方法などを学ぶために県外へ研修する経費を支援	対策本部 (県スポ協委託)	7,920	0	7,920	【新規】
	コーチ資格取得支援	・国民スポーツ大会において必須となる指導者や審判員の資格取得のための必要経費を支援 ・アスレチックトレーナーの資格取得のための必要経費を支援	対策本部 (県スポ協委託)	1,512	2,146	▲ 634	
	地域指導者部活動派遣	・県内私立の中学校、高等学校の運動部活動において、指導力の高い地域指導者を活用して競技力向上を図る学校への支援	対策本部 (私学分は県スポ協委託)	870	870	0	
	地域指導者養成	・新たな指導者を育成するために、県内の優秀な指導者の下で指導実績を積みながら指導方法を学ぶことができる仕組みづくりを支援	対策本部 (競技団体分は県スポ協委託)	2,019	2,019	0	
4 支 選 手 ・ 環 境 整 備 を	競技用具整備	・特殊かつ高額で、個人や競技団体では購入が不可能な、強化練習に必要な競技用具を整備	県直接執行	20,063	14,665	5,398	
	サポーターチーム派遣 (スポーツ医科学サポート)	・スポーツ医科学の分野で専門的知識や技術を持ったスタッフ（トレーナー、栄養士、薬剤師等）を練習へ派遣	対策本部 (県スポ協委託)	6,075	6,075	0	
	遠征帯同トレーナー派遣	・1試合での運動量やコンタクトプレーの多い競技で、全国大会常連校で毎年上位入賞するホッケー競技とラグビーフットボール競技の選手が、より良いコンディションで大会に臨めるように、国体以外の全国大会へトレーナーを派遣	対策本部 (県スポ協委託)	990	990	0	
	国体チームサポーター派遣	・選手がより良いコンディションで大会に臨めるように、国体やブロック大会へ支援コーチやトレーナーを派遣	対策本部 (県スポ協委託)	5,353	3,692	1,661	
	医科学トレーニング実践	・医科学的指標に基づいて選手の身体能力等を評価して、日ごろのトレーニング効果を計測	対策本部	1,025	1,025	0	
	練習付帯経費支援	・身体接触の激しい競技で身体づくりやけがの予防のための必要経費や、特殊競技の施設利用料や普段の練習に必要な練習付帯経費について支援	対策本部	2,600	0	2,600	【新規】
トップアスリートコーディネーター関係経費	・働きながら競技スポーツを続けることができる環境を整備するために、競技スポーツに理解のある県内企業を開拓する人材を島根県競技力向上対策本部へ配置する。	県直接執行	4,512	0	4,512		
合 計				211,458	137,141	74,317	

対策本部執行分(※)	186,883
うち県スポ協委託	36,178
県直接執行分	24,575

(※) 対策本部予算額217,701千円との差額内訳
・ 県スポーツ協会人件費 22,983千円
・ 県スポーツ協会事務費 3,000千円
・ 対策本部事務費 4,835千円

国体入賞競技拡充事業 実施方針 (対策本部実施事業)

令和4年度当初予算【7,672千円】新規事業

1 目的

従来 of 国民体育大会入賞実績に基づく強化指定に加え、国体入賞やブロック大会突破まであと一歩という競技団体の強化活動を支援することで、競技団体の強化活動を広範囲に展開する。

2 対象

国民体育大会における正式競技県内41競技団体のうち、次の①又は②に該当する競技団体（ただし、国体強化指定競技を除く。）

- ① 県単出場競技において、本大会の過去3大会（第72回～第74回）でベスト16もしくは同等の成績だった競技種別
- ② ブロック大会において、3位以上でブロック突破できなかった競技種別

3 事業内容

国民体育大会及び国民体育大会中国ブロック大会における競技成績をもとに、競技種別ごとに強化費を配分し、以下の強化活動を支援する。

- ① 令和4年度栃木国体2次強化
令和4年度栃木国体までの県外遠征
- ② 令和5年度鹿児島国体1次強化
栃木国体終了後から年度末までの県外遠征及び招請合宿

4 補助対象

対象団体が実施する上記の事業に係る謝金（指導者手当含む）、旅費（宿泊費及び交通費）、会場使用料、器具借上料、通信運搬費

5 年間計画

- | | |
|--------|--------------------------|
| 令和4年4月 | 強化費の配分（令和4年度栃木国体2次強化） |
| 10月以降 | 強化費の追加配分（令和5年度鹿児島国体1次強化） |

アドバイザーコーチ招請事業 実施方針 (対策本部実施事業)

令和4年度当初予算【3,384千円】新規事業

1 目的

競技力を高めるための指導力を有する指導者が県内に不在の競技団体や、振り付けや形の演技等の特殊な指導技術が必要な競技団体に対して、優れた指導実績を持つ県外の指導者を派遣することで、競技力の向上につなげるとともに、指導者の資質向上を図る。

2 対象

国民体育大会における正式競技の県内41競技団体のうち、本事業の活用を希望する団体を対象に、県内指導者や競技力の状況及び競技の特性等を総合的に判断し、派遣する競技団体を選考・指定。

3 実施内容

指定を受けた競技団体は、県外のアドバイザーコーチによる強化練習会等を開催する。

4 補助対象

対象団体が実施する上記の事業に係るアドバイザーコーチに対する謝金、旅費(宿泊費及び交通費)、及び練習会を開催するための会場使用料、器具借上料、通信運搬費。

練習付帯経費支援事業 実施方針
(対策本部実施事業)

令和4年度当初予算【2,600千円】新規事業

1 目的

選手強化のための練習において多額の経費を必要として練習実施に支障を来す恐れのある競技の負担軽減を図り、円滑な選手強化に資する。

2 対象

国民体育大会における正式競技の県内41競技団体に要望のあった競技団体のうち、対策本部が必要と認めた競技団体

3 実施内容

練習に必要な消耗品等の経費を支援

4 補助対象

以下の経費のうち、島根県競技力向上対策本部が必要と認めたもの。

- ①身体接触の激しい競技での身体づくりのための経費
- ②怪我の予防のための必要経費
- ③特殊競技の練習で必要不可欠な練習付帯経費

令和4年度収支予算

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

島根県競技力向上対策本部の令和4年度収支予算は、次のとおりとする。

1 収入の部

(単位：千円)

科 目	当初予算額	説 明
負 担 金	217,701	県負担金
合 計	217,701	

2 支出の部

(単位：千円)

科 目	当初予算額	説 明
事 業 費	212,866	<ul style="list-style-type: none"> ・組織体制の整備・充実 ・選手の発掘・育成・強化 ・指導者の養成・資質向上 ・選手指導者を支える環境整備等に要する経費
事務局費	4,835	事務局運営費
合 計	217,701	

今後の競技力向上対策に係る提言

1 タイトル

競技力向上をきっかけに故郷に何を遺すか

2 提言者

東洋大学教授（オリンピック） 土江 寛裕 氏

3 内容

- ・小学生時、82年国体で感じたこと
- ・競技者としてオリンピックまでの話
- ・現在のトップ選手の状況や、それを踏まえた選手強化の方向性
- ・国スポをきっかけに島根にスポーツの選手～将来の指導者を定着させる重要性

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会
愛称・スローガン最優秀賞及び優秀賞

1 最優秀賞

※第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会の愛称・スローガンとして決定する。

(1) 愛称

島根かみあり国スポ・障スポ
<p>〈選定理由〉 簡潔で呼びやすく、島根をイメージさせる。 「かみあり」は響きが良く、前回大会の「くにびき」と連続性があり、統一した島根らしさを感じられる。 また、「かみあり」から連想する「神在月」と開催が重なり、全国から神様がお集まりになる島根だけの「神在月」を全国に発信できる。</p>
<p>島根県 山根 凜 (18歳) ※応募があった20名の中から抽選により決定しました。</p>

(2) スローガン

自分を超えろ、神話をつくれ
※応募作品に読点の加筆を行っています。
<p>〈選定理由〉 スポーツ大会に相応しい躍動感がある。 自分に向けられた言葉としてがんばろうと思えるような、選手に対する高いメッセージ性がある。 また、「神話」が島根という地域性を感じさせ、愛称候補の「島根かみあり国スポ・障スポ」とのバランスにおいても優れている。</p>
<p>東京都 荻野 祐介 (44歳)</p>

2 優秀賞

(1) 愛称

えにしを結ぶ しまね国スポ・障スポ 大阪府 高尾 宜之 60歳

未来神話 しまね国スポ・障スポ 愛知県 牛田 正行 59歳

神話伝説 しまね国スポ・障スポ 島根県 山本 紀子 51歳

※応募作品の一部を修正しています。原作「新(神)話伝説 しまね国スポ・障スポ」

(2) スローガン

大地躍動、神話を刻め 山梨県 穂山 正文 71歳

※応募作品に読点の加筆を行っています。

ご縁をつなぎ輝く未来へ 島根県 塩毛 利生 69歳

伝説になれ！君の輝き 東京都 山田 響子 54歳

(敬称略)

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会 マスコットキャラクター

1 制定目的

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会開催基本方針、広報基本方針及び広報基本計画に基づき、大会の広報活動の一つとして、大会を象徴し、広く県民に愛されるようなマスコットキャラクターを制定し、大会開催の機運を高める。

2 第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会マスコットキャラクター

島根県観光キャラクターしまねっこを第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）のマスコットキャラクターとする。

島根県観光キャラクターしまねっこ



3 制定理由

しまねっこは、2010年1月に島根県の認知度向上のために、全国公募によって誕生した島根県観光連盟のマスコットキャラクターである。

全国的にも認知度が高く県民に定着しており、令和2年度に実施した第8回しまねwebモニターアンケートにおいて、大会のマスコットキャラクターにはしまねっこを用いるべきと回答した人が9割にのぼった。

他の都道府県においても、既存のマスコットキャラクターを活用し大会のPRに貢献している例が多い。

これらのことから、既に県民に親しまれており、認知度も高い「しまねっこ」をマスコットキャラクターとする。

4 マスコットキャラクターの大会仕様デザインの作成

大会のマスコットキャラクターであることを表すデザインとするため、ユニフォームを着用させる等の大会仕様のアレンジを行う。

また、必要に応じて各競技に対応する展開型のデザインを作成する。

第84回国民スポーツ大会 会場地市町村（選定状況）

○正式競技、特別競技

【競技別】

No.	競技・種目名		種別	市町村名	開催予定施設(想定)	選定
1	陸上競技		全種別	出雲市	島根県立浜山公園陸上競技場	第1次
2	水泳	競泳	全種別	松江市	島根県立水泳プール	第1次
		飛込	全種別			
		アーティスティックスイミング	少年女子			
		水球	少年男子・女子	江津市	江津市民プール	第3次
		オープンウォータースイミング	男子・女子	益田市	益田市内特設会場	第1次
3	サッカー	成年女子 少年男子 少年女子	浜田市	浜田市陸上競技場	第1次	
				サン・ビレッジ浜田スポーツ広場		
				浜田市三隅中央公園陸上競技場		
			益田市	島根県立サッカー場		
				益田運動公園陸上競技場		
				ひだまりパークみとスポーツ交流広場サッカー場		
吉賀町	吉賀町真田グラウンド					
4	テニス	全種別	松江市	松江市営庭球場	第2次	
			安来市	安来運動公園庭球場		
5	ボート	全種別			調整中	
6	ホッケー	全種別	奥出雲町	三成公園ホッケー場	第1次	
				島根県立横田高校ホッケー場		
7	ボクシング	成年男子 成年女子 少年男子			調整中	
8	バレーボール	6人制	全種別	松江市	松江市総合体育館	第2次
				安来市	安来市民体育館	
		ビーチ	少年男子 少年女子	浜田市	島根県立石見海浜公園	
9	体操	競技	全種別	浜田市	島根県立体育館	第1次
		新体操	少年男子 少年女子	松江市	松江市総合体育館	第1次
			男子・女子	浜田市	島根県立体育館	第2次
10	バスケットボール	全種別	松江市	松江市総合体育館	第1次	
				鹿島総合体育館		
				松江市島根体育館		
11	レスリング	成年男子 少年男子 女子	雲南市	三刀屋文化体育館(アスパル)	第2次	
12	セーリング	全種別			調整中	
13	ウエイトリフティング	成年男子 少年男子 女子	出雲市	島根県立出雲農林高校体育館	第1次	
14	ハンドボール	全種別	松江市	松江市総合体育館ほか	第2次	
			鳥取県米子市	米子市新体育館(仮称)		
15	自転車	トラック・レース	成年男子 少年男子	出雲市	島根県自転車競技場(仮称)	第3次
		ロード・レース	女子	益田市	益田市内特設ロード・レースコース	第1次
16	ソフトテニス	全種別	松江市	松江市営庭球場	第2次	
17	卓球	全種別	松江市	鹿島総合体育館	第3次	
18	軟式野球	成年男子			調整中	
19	相撲	成年男子 少年男子			調整中	

No.	競技・種目名	種別	市町村名	開催予定施設(想定)	選定	
20	馬術	成年男子 成年女子 少年	兵庫県三木市	三木ホースパークランド	第3次	
21	フェンシング	全種別	安来市	安来市内体育館	第1次	
22	柔道	成年男子 少年男子 女子	出雲市	島根県立浜山公園体育館(カミアリーナ)	第2次	
23	ソフトボール	全種別	出雲市	出雲市内野球場	第2次	
			雲南市	雲南市内野球場		
			飯南町	飯南町内野球場		
24	バドミントン	全種別	松江市	鹿島総合体育館	第2次	
25	弓道	全種別	大田市	島根県立大田高校弓道場、グラウンド	第2次	
26	ライフル射撃	CP (センター・ファイア・ピistol)	成年男子	松江市	島根県警察学校射撃場	第2次
		BR(ビーム・ライフル) BP(ビーム・ピistol)	少年男子 少年女子		松江市内体育館	
		50m 10m:AR(エア・ライフル) AP(エア・ピistol)	全種別			調整中
27	剣道	全種別	出雲市	新出雲体育館(仮称)	第1次	
28	ラグビーフットボール	15人制	少年男子		調整中	
		7人制	成年男子・女子			
29	スポーツクライミング	全種別	津和野町	津和野町内特設会場	第2次	
30	カヌー	スプリント	全種別	美郷町	江の川特設コース	第1次
		スラローム	成年男子 成年女子			
		ワイルドウォーター				
31	アーチェリー	全種別			調整中	
32	空手道	全種別	大田市	大田総合体育館	第2次	
33	銃剣道	成年男子 少年男子			調整中	
34	クレール射撃	成年			調整中	
35	なぎなた	成年女子 少年女子			調整中	
36	ボウリング	全種別			調整中	
37	ゴルフ	女子	出雲市	いづも大社カントリークラブ	第2次	
		成年男子 少年男子	浜田市	金城カントリークラブ 浜田ゴルフリンクス	第1次	
38	トライアスロン	成年男子 成年女子			調整中	
39	高等学校野球	硬式	出雲市	島根県立浜山公園野球場	第1次	
		軟式	松江市	松江市営野球場	第2次	

	競技数	種目数	市町村数
第1次選定(R3.3.22)	13	19	8
第2次選定(R3.10.12)	15	17	9(県外1含む)
第3次選定(R4.3.16)	4	4	4(県外1含む)
調整中	13	15	—

(注1) 本県で開催予定の第84回大会の実施競技は、(公財)日本スポーツ協会において令和4年6月以降に正式決定される予定のため、実施競技(種目・種別を含む。)が変更になる可能性もある。

(注2) 開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体視察の結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

(注3) 複数種目からなる競技については、一部の種目における競技会場地市町村が選定された場合でも1競技としてカウントしている。